

【放送大学千葉学習センター／学びの先輩に聞く】 20年目の自己実現。博士後期課程を修了した今思うこと



博士論文の執筆にあたり図書館を有効活用した。

鴨川市の総合病院に勤務する森信洋氏は、20代後半で千葉県美浜区の放送大学・千葉学習センターに編入学。仕事と研究を両立させながら博士論文の執筆という大きな課題に向き合い、2021年3月に博士後期課程を修了した。20年近くにわたる学生生活を通して森氏が得た物とは？本人にじっくりと話を聞いてみた。

職場で活用できる高度な知識を得るため放送大学博士課程に入学

「私が所属している集中治療室には、重症患者が運ばれてきます。そこで働く医師や看護師はとても優秀で、いわば院内の精鋭が集まるようなとてもレベルの高い職場です。2年前から新型コロナが始まって、業務は以前にも増してハードになりました」。

南房総の穏やかな景色に囲まれた鴨川市にある総合病院に勤務する森信洋氏は、キャリア27年目の臨床工学技士として医療機器の操作を担当している。扱っているのは人工呼吸器や人工心肺装置、透析装置といった生命維持に欠かせない精密な機器ばかり。そのため、毎日の点検や保守、時には修理を行うなど卓越した技術と知識が必要となる。森氏は2016年に透析室から集中治療室へ異動し、医療の最前線で過酷な日々を過ごしている。

サークル活動(学生団体)に参加しよう



千葉学習センターでは、心理学、音楽、古典文学、語学、スポーツ、美術などをテーマに多くのサークルが活動しています。

通信制大学の学習は孤独になりがちだといわれますが、サークル活動に参加して共に学ぶ仲間を見つけませんか。

(裏面参照)

放送大学大学院 文化科学研究科 文化科学専攻
博士後期課程修了(千葉学習センター)／森 信洋氏

「私の使命は、人の命に関わる機器類を安全かつ正確に操作することです。その安全性を確保するために客観的なデータを蓄積して分析あるいは評価できるデータベースを開発しよう。それを現場に活かれば医療の質を上げられるんじゃないかと思ったんです」。異動から2年後の2018年、森氏はそんな志を抱いて放送大学博士後期課程に入学した。



博士論文の執筆にあたり図書館を有効活用した。

社会人になってから「学びたい」と一念発起。3年次編入で大学生に

森氏が放送大学に籍を置くのは、実はこの時が初めてではなかった。社会人になりしばらく働いた27歳の時に放送大学に編入学し、そこから十数年をかけて修士課程まで修めているのだ。

1974年、福島県南相馬市(当時は原ノ町市)に生まれた森さん。県内の高校を卒業後は仙台市にある専門学校へ進学し、1995年に臨床工学技士の国家資格を取得した。「仕事を続けていくうちに『もっと知りたい』という思いが強くなっていきまして。働きながら専門的に学ぶならどこが良いのかと考えた時に、放送大学のテレビコマーシャルを思い出したんです」。

専門学校を卒業していた森氏は3年次編入で2001年に入学し、5年間で62単位を取得して卒業。その翌年には実家のある南相馬市の病院へ転職し、ほどなくして修士課程へと進んだ。社会人として収入を得ながら無理なく勉学に打ち込める放送大学は、誰もが自分のペースで着実にステップアップしていける魅力的な場所と森氏は語る。

恩師と5年振りの再会。博士後期課程は別次元の厳しさを実感

2011年3月11日に発生した東日本大震災。森氏の暮らしていた南相馬市は大きな被害を受け、避難準備区域に指定された。再び鴨川に戻った森氏は2013年に修士課程を修了。「当時の放送大学にはまだ博士課程がなかったんです。数年のうちにできるという噂があったので、それまで待ってしようと仕事にウェイトを置いて生活していました」。

そして迎えた2018年、より専門的な知識の習得と論文執筆を目指すため博士後期課程に入学。修士課程で師事した川原靖弘教授と5年ぶりの再会を果たし、自身の研究を進めた。博士課程で求められるのは新規性(先進性)と独自性のある研究と、それを社会に資することと振り返る。

森氏が博士研究の題材にしたのは、前述の通り「医療機器の安全性を確保するために客観的なデータを集約し、分析・評価できるデータベースを開発」すること。川原教授のもと膨大なデータモデルを定義し、複数の医療施設で共用できるデータベースを新たに構築していった。「博士論文は論理的かつ明快に示さなければなりません。この点は修士論文と大きく異なります。短期間に取り組むだけでは到底やりこなせる代物ではなく、毎日3～4時間ずつ積み重ねていくことが重要と実感しました」。

効率と集中力を向上させるために生活リズムを抜本的に見直し

ハードな集中治療室勤務と並行して進めていった博士論文。タスクを効率良くこなすために生活リズムを見直し、起床4時・就寝21時という朝型生活に変えていったそう。「仕事から帰るとクタクタになってしまつて机に向かうこともままなりません(苦笑)。なので、思い切って朝型に変えて出勤するまでの間に研究の継続性と集中力を最大化させていきました。私にとってはそれがベストでしたね。途中、新型コロナが始まって精神的にもしんどい2年間でしたが、それでも途中で投げ出さずにやれた理由のひとつは、朝型にしたおかげと思っています」。

そうした努力の甲斐あり、博士論文「集中治療室における敗血症に着目した医療機器情報データモデルの研究」を発表。2021年3月に博士学位を授与された。

博士課程での生活を通じて心に決めた、生涯研究者であること

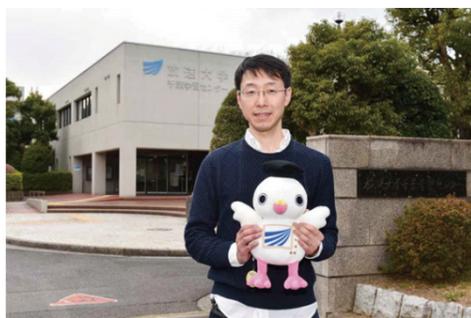


新型コロナが流行して以降、教職員とはオンラインでやり取りする。

現在、森氏は鴨川市にある「亀田総合病院」の集中治療室に勤務しながら、客員研究員として亀田医療大学にも所属している。博士論文を発表してからも、継続的に学会発表と論文を投稿し、臨床工学技士・研究者として精力的に活動している。朝4時に起床する生活スタイルは今も継続中だ。「放送大学の博士後期課程では『この先もあなたは研究者であり続けられますか?』と問われている気がします。臨床工学技士は医療機器を管理する視点から科学的根拠に基づいた問題の提起と課題解決を提案し、現場で医師や看護師をはじめ多くの医療スタッフと密に連携していく必要があります。博士後期課程での学びから私自身大きく成長できたと実感していますし、今後は研究者として立ち回るのももちろん、臨床工学技士として医療の質の向上に努めていきたいと思っています」。

インタビューの終盤で放送大学の魅力について質問すると「価値観や指向性といった人の在り方がこれだけ多様化した現代において、放送大学は自己実現のための最適解です」と真つすぐな目で語る森氏。「生涯学習」を基本理念に掲げ、それぞれの知的好奇心を満たしながら意識変容と行動変容を促してくれる学習環境は素晴らしいと付け加えた。

新型コロナの流行を機に、インターネットによる講義を拡充するとともに試験もオンライン化するなど、時勢に応じた対策を講じている放送大学。学ぶことの喜びを求め、今年もまた多くの社会人がこの門をくぐることだろう。



千葉学習センターの入口にて。

森 信洋／もり・のぶひろ

1974年、福島県南相馬市生まれ。臨床工学技士として鴨川市の総合病院に勤務する傍ら、2002年に放送大学編入学。修士課程を経て2021年3月に博士後期課程を修了。亀田医療大学総合研究所客員研究員。

(文 吉岡啓雄)

面接授業 実施時間

1時限	9:50 ~ 11:20
2時限	11:35 ~ 13:05
3時限	14:05 ~ 15:35
4時限	15:50 ~ 17:20



学生教育研究災害障害保険

■学生教育研究災害傷害保険とは「加入者である学生が教育研究活動中に被る事故に対する保障を目的とした保険」です。
■放送大学のすべての種類の学生が加入することができます。
■保険金額は学生教育研究災害傷害保険が100円(6年間有効)です。通学特約はプラス40円(同)です。
■放送大学で授業となるとあまり頻度は多くありませんが、ゼミへの参加や面接授業、そして研究のためのフィールドワークに資料収集など研究活動を広く行うことがあると思います。
■加入を希望する方は、学習センター窓口へ学生証と保険料を添えてお申し込みください。

心理学 Psychology

カウンセリング研究会

<大学公認団体>

内容: 毎月の定例会ごと、単発のテーマを設定し学習。机上の学習だけでなく、演習を重視。また不定期で展覧会等の見学、座禅等の体験学習機会を設けている 活動日: 毎月1回日曜日14:00~17:00 会員数: 15名程度 会費: 年会費無し 連絡先: 福森 happyforest21c@gmail.com



心理臨床研修会

<大学公認団体>

内容: 創作セラピー療法を中心に毎月定例研修会を開催し心理学の学びを深める一方、卒業まで仲間と語り楽しく学ぶ場を提供。ぜひ一度一緒に体験を! 活動日: 毎月第2日曜日及び第4土曜日に研修会 日曜日10:30~17:00 土曜日9:30~16:30 会員数: 約50名 会費: 研修会区分に応じた額 連絡先: 岡村 090-3475-7241 FAX: 050-3586-8773 t-okamura@dream.jp



外国文化 Foreign Culture

スペイン語友の会

<大学公認団体>

内容: 毎月の例会では、柳沼先生(神田外大・前副学長)によるスペイン語文法の特別講義、および会員間での小説の講読・スペイン語の映画鑑賞を実施しております 活動日: 曜日(第4火曜日) 13:00~16:00 会員数: 20名程度 会費: 入会金: 2,000円、参加費: 1回1000円 連絡先: 末富 080-4095-5735 qui.suetomi@gmail.com



2019.10.11 千葉学習センターの輪舞り(当日参加のスペイン語友の会会員)

タンパク質紳士淑女録

内容: 木村千葉大学名誉教授を顧問として、健康及び病気について講義・自主発表・輪読の活動をしています。 活動日: 毎月第3水曜日14:00~16:30、現在はSkypeによるWebサークルを実施中 会員数: 13名 年会費: 1,000円 連絡先: 伊草 igs.oowada1121@ae.auone-net.jp



美術 Art

書道クラブ 翠乃会

<大学公認団体>

内容: 活動目的: 書道の研鑽を通じて書への理解を深め、会員相互の親睦を図る。活動内容: 書の修練(楷書、行書、草書)中国の書跡・日中書道史の研究(臨書) 活動日: 原則、毎月第1火曜日9:30~12:00 会員数: 11名 会費: 三か月分 5,500円(教材費込み) 連絡先: 中山 mnk19230@tuba.ocn.ne.jp



若葉スケッチ会

<大学公認団体>

内容: 野外に出掛けて、水彩画のスケッチを楽しみ、作品は、千葉学習センターに展示しています。年1回合宿旅行(2泊3日)でパワーアップ 活動日: 毎月第1金曜日10:00~16:00頃 会員数: 20名(うち女性11名) 会費: 年会費1,000円 連絡先: 石田 047-454-7304 yuchy_ishida@yahoo.co.jp

木彫会

内容: 木彫による仏像づくりをしています。日々のうつろいの中である日ふっと仏像を作りたいと思ったことはありませんか? ある女性の活動歴は4年目です 会員数: 7名 会費: なし 連絡先: 田中 090-8841-5700 ohta2@com.zaq.ne.jp



音学 Music

アンサンブル倶楽部

内容: 千葉学習センターラウンジにて年数回ランチコンサート。使用楽器リコーダー(ソプラノ、アルト、テナー)フルート、ピアノ、バイオリン等 活動日: 月2回(平日又は週末) 会員数: 10名 会費: なし 連絡先高橋: 080-5009-2400



千葉合唱サークル(混声合唱)

<大学公認団体>

内容: 田中・前島・菊池3先生の熱血指導の下、日本抒情歌曲・組曲・ポップス等を合唱、男性・女性の現役、主婦・シニアの方お待ちしております。2022年5月から活動再開します。活動日: 毎月第1、3日曜日13:00~15:30 会員数: 16名 会費: 2,500円/月 HP: 「放送大学千葉合唱サークル」参照

スポーツ Sport

テニスサークル テイクバック

<大学公認団体>

内容: 両曜日とも、午前中は基本的練習(ストローク、スマッシュ、サーブ等) 午後は試合 活動日: 毎週水曜日、金曜日 9:00~16:00 会員数: 27名 会費: 月400円 連絡先: 国吉 090-1544-1912

テニス同好会 若葉

<大学公認団体>

内容: テニスの上手な方から、それなりの方まで、約1時間は真剣に練習、約2時間は和気藹藹の雰囲気ゲームをやっています 活動日: 毎週土曜13:00位~16:00位 会員数: 16名 会費: 年間1,000円 連絡先: 嶋田 masa.shimada50@gmail.com

テニスクラブ コスモス

<大学公認団体>

内容: 毎週火・木曜日の午後に、基礎練習後ゲーム形式のプレーを行います。まして春と夏の公式戦、テニスを通じて会員相互の親睦と体位の向上を合もります 活動日: 毎週土曜日と日曜日、10:00~12:00 会員数: 18名 日会員数: 28名 会費: 年会費2,000円 連絡先: 菅藤 ひろ_kanto@mvp.biglobe.ne.jp

ソフトボールクラブ

<大学公認団体>

内容: 未経験者が多いですが楽しく練習してまです。千葉市ソフトボール協会の3部リーグに加盟して春と夏の公式戦や他チームとの練習試合もありです 活動日: 毎週土曜日と日曜日、10:00~12:00 会員数: 18名 日会員数: 28名 会費: 年会費3,000円/年 連絡先: 岡部 okakatu3@yahoo.co.jp

古典 Classic

日本の詩歌を楽しむ会

内容: 百人一首と美しい日本の詩(近・現代詩)の朗読をテープで聞き和歌では解説を各自発表。美しい日本の詩は(古典和歌・近代短歌近世俳句・近代俳句)へと進め、かるた会や文学散歩もします。 活動日: 毎月第2・第4水曜日13:30~15:30 会員数: 12名 会費: 年会費1,000円 連絡先: 大部 TEL: 090-8088-8125 E-mail: obu.sachiko@gmail.com



古文書を読む会

<大学公認団体>

内容: 近世の武士日記を題材に古文書講読を行います。文章内容が率直で面白く挿絵も楽しめ又歴史資料としても貴重なものです。他に「江戸歩き」日記の現場検証や日記を書いた武士の地元調査などを行います。写真は神楽坂から四谷見付までを探索した際のものです 活動日: 毎月2回(第一・第三火曜日)に講読会 月1回(適時)に「初心者会」など 会員数: 約20名 会費: 入会金1,000円 会費1,000円/月 連絡先: 野口 090-1464-4501 akira.noguti@honey.ocn.ne.jp

コミュニティ Community

海洋クラブ

<大学公認団体>

内容: 海の楽しさを紹介します。クルージング、SUP、海釣り、料理教室、南房総マリーナ宿泊、勉強会等 活動日: 月1回以上=事前に活動計画をお知らせします 会員数: 15名(内女性2名) 会費: 3,000円/年 活動によって別費用あり 連絡先: 木下 tesshu73@gmail.com



シニアライフ研究会

<大学公認団体>

内容: 毎回担当会員が1時間前後のプレゼン、その後白熱の討論(古今東西、森羅万象を議論する楽しく愉快で有益な会)他に経済研究会など分科会開催 活動日: 毎月第一月曜10:00~16:00 会員数: 21名 会費: 2,000円/年 連絡先: 鳥羽 htoba@green.ocn.ne.jp

囲碁クラブ

<大学公認団体>

内容: 対局を主体とし初心者には個別に指導 活動日: 毎週木曜日 会員数: 21名 会費: 年会費1,000円 入会金1,000円 連絡先: 桑原 masatkuw@mtj.biglobe.ne.jp

千葉コンピュータユーザーズ

<大学公認団体>

内容: パソコンの知識と操作技術の向上を目指し、日々努力と研鑽を積んでおり、パソコンを通じ充実した時間を楽しむと共に会員相互の親睦をはかること 活動日: 月2~3回(13:30~15:30) 会員数: 12名 会費: 年間6,000円(6ヶ月: 3,000円) 連絡先: 中込 043-278-5126 y-nakagome@rose.plala.or.jp



サークル紹介

放送大学軽音楽

<大学公認団体>

内容: 毎月2日間セミナーハウス研修室、千葉学習センター講義室、千葉市コミュニティセンター等で練習をして、千葉学習センター秋祭り等で発表をしている 活動日: 毎月第1日曜日と適宜土曜日、日曜日、祝日の内の1日 12:00~18:00頃 会員数: 12名 会費: 半期2,000円 連絡先: 岡 oksunpiano@yahoo.co.jp 090-9366-7834

